

小原一真(おばらかずま)

1985年岩手県生まれ。大阪府茨木市在住。写真家、ジャーナリスト。
スイス・フォトエージェンシーKEYSTONE-SDA パートナーフォトグラファー。ロンドン芸術大学フォトジャーナリズム修士課程修了。

自然災害、戦争、核をテーマとして社会から見えづらくなってしまった被害者を長期的なドキュメンタリー作品として国内外で発表を行う。主な著書に東日本大震災と福島第一原発・原発作業員を記録した写真集『RESET』(ラースミュラー出版/スイス)、太平洋戦争で被害を受けた大阪の子供たちの戦後を描いた「SilentHistories」(RM/メキシコ)。ウクライナのチェルノブイリ原子力発電所事故の長期的影響を記録した『Exposure』(RM/メキシコ)など。世界報道写真賞受賞や米TIME誌年間ベスト写真集選出他、オランダ大使館、米ナショナル・ジオグラフィック協会など様々な助成を受ける。